

ITシステムとデータ基盤をAWSへ展開 グループ内外の事業提携も強化し、40%のコスト削減を見込む

導入の背景・課題

- M&Aなどグループ全体として成長していくために、基幹システムのサブシステムとの連携、部分的使用などのニーズが年々高まっていた
- システム間の連携に使用していた集配信サーバーとETLツールについて、数が増加し管理に限界を感じていた

導入効果

- 基幹システムのAWS移行でグループ会社の外部インタフェースを共通化し、移行費用の償却後、ITインフラコストは従来比40%削減見込み
- AWS上の新基幹システムを中心にし、データ HUB として複数のシステム間の共通データを一元的に管理可能に
- ITインフラ環境の構築や運用に費やしていた人的リソースを戦略領域に向けることができるようになった

【適用業務】 マイグレーション 【OS】 Windows、Linux

【主なAWSサービス】 Amazon EC2、Amazon RDS、Amazon ELB、AWS Lambda、AWS Transit Gateway、Cloud Financial Management 等

《お客様の概要》

- お客様名：株式会社バローホールディングス
- 業種：小売業、サービス業他
- 所在地：岐阜県多治見市大針町661番地の1
- URL：<https://valorholdings.co.jp/>

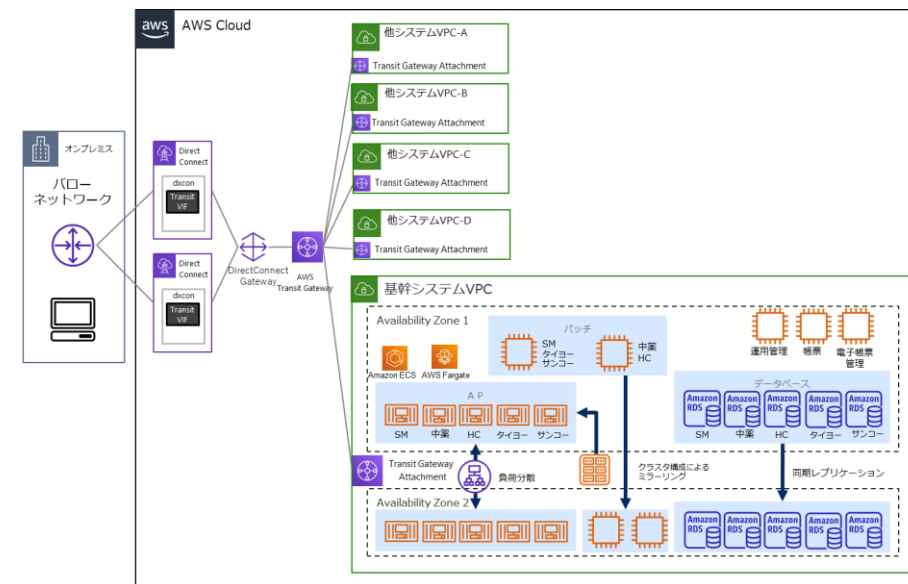


バローホールディングスは、スーパーマーケットを中核に、ホームセンター、ドラッグストア、スポーツクラブを展開するほか、多様な機能をグループ企業で補完する流通システムを構築しています。東海地方を中心に展開してきた同グループの事業は全国に広がり、成長を続けています。

ご提案内容／システム構成図

- 低コストで長く使える拡張性・柔軟性を備えた基幹システムの構築
- サプライチェーンの情報連携を担う「データ HUB」の導入によるシステム間連携強化
- 複数のアベイラビリティゾーンに展開して可用性を高める構成
- 基幹システムの機能改善と安定運用に向けた運用保守体制の強化
- 小規模、トランザクションが少ない企業のシステムから切り替えを開始し、それらから見える課題を一つずつクリアしながら安全・安心・確実な導入の実施

構築期間12カ月



お客様の声

- NECは、従来の基幹システムやデータ HUB 構想など当社の考え方を熟知していた点に加え、AWSの認定資格取得者も多く、クラウド活用の豊富な実績を評価しました
- NECの技術者と意見交換を行う中で、当社の状況を汲み取り、積極的な議論を重ね、これは良いものができると感じました
- 今後もクラウドで柔軟にスケールしながら、データ HUB を同業他社にも広めて活用していきたい